

農業で  
自立できる町

あっさぶの

新規就農ガイドBook

ニッ  
だよ!



厚沢部町イメージキャラクター  
町民支持率100%  
おらいも君

Hokkaido

厚沢部町

あっさぶちょう



# 町をあげて！ 農業自立を 応援します

新規就農するときに  
必要な情報を  
「新規就農ガイドBook」  
としてまとめました。

アスパラの  
ハウス栽培を通じて、  
農業で自立するための  
情報をお届けします！

P3

## 温暖な気候が 支える長い収穫期間

寒さが厳しいイメージの北海道ですが、道南の厚沢部町は北海道の中では比較的温暖な気候。夏は本州よりも涼しく、冬は北海道の中では暖かい、いいとこどりの気候です。暮らしやすいのはもちろんのこと、温暖な気候は農業にとってもいいこと尽くしです。

P5

## 子どもは 町民みんなの宝もの

町の小高い丘にある認定こども園「はぜる」は、豊かな自然の中で最先端の保育を提供できる施設。さらに、3歳以上の保育料は無料。子どもたちを町全体で育てていきたい厚沢部町の想いが溢れています。進学は、公営塾のサポートもあるので心強い！

P4

## 町全体が 新規就農者の応援団

農業はひとりではできません。だからこそ、町の人に受け入れられるのが心配な方も多いのですが、厚沢部町ではその心配はいりません。新規就農者がまだまだ少ないエリアだからこそ、町全体で見守っていく想いをみんなが抱いています。新規就農の問い合わせをした際、最初に町の人のやさしさに触れられるでしょう。



新規就農者

## あっさぶ 農業 データ

人口：約3800人

産業：農業・林業、次いで介護業など

平均農業年齢：62.5歳

直近5年の新規就農者数：3人

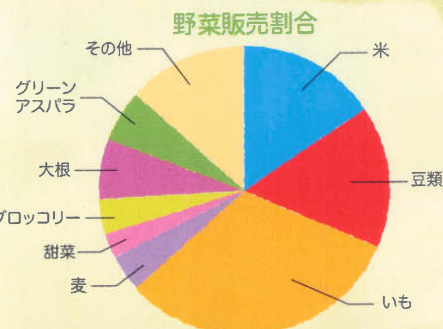
兼業農家：専業農家 = 37：63

## 作物 データ

厚沢部町のキャラクター「おらいも君」のモチーフにもなっている、いも（あっさぶメークイン）がダントツの一位！町の特色を生かした農業体系を維持するために、複数の作物の組み合わせ栽培を取り入れています。

メークイン  
“発祥”の地

大正時代(1925年)に厚沢部町にあった北海道立松山農事試作場で、日本で初めてメークインの畑作の試作を行ったと伝えられており「あっさぶメークイン発祥の地」とわれています。





# 北海道と本州のいいところどり！ 温暖な気候が支える 長い収穫期間

降雪量が少ないため、雪の重さでのハウス倒壊のリスクが軽減。さらに雪解けも早く、春の営農も早めにスタートできるという、いいところり！

新規就農ならダントツで、アスパラガスをおすすめします！

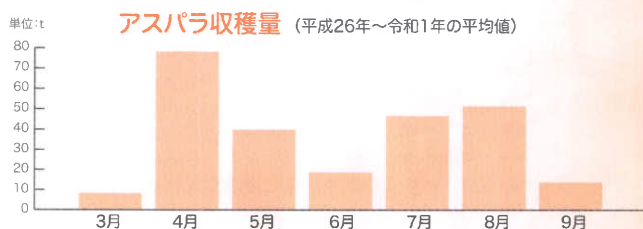


## 省スペースで高収入

厚沢部町では、あちこちにアスパラのハウスを見ることができます。平成16年度にハウス整備事業により整備されたことがきっかけでアスパラのハウス栽培のナレッジを築き上げ、平成27年度には販売高が3億円を突破。

主にハウス栽培のため、省スペースで営農が可能で、露地栽培に比べ天候リスクも格段に少なくなります。アスパラは一度苗植えすると15年にわたり収穫が続けられる作物のため、新規就農者でも安定収入を得られやすい作物と言えるでしょう。

## 立茎栽培で収穫期間が4倍に！



通常は1ヶ月程度の収穫期間を半年程度まで延長することができる立茎栽培。通常の収穫後に株を育てると、アスパラの葉が青々と茂ります。葉が光合成をすることで新たな芽が成長し収穫が続けられます。北海道でも秋頃まで収穫が可能になります。

## 組み合わせオススメ野菜

作業時期をずらして複数の作物を栽培することで、さらなる収入のUPを見込めます。アスパラと一緒に栽培しやすいオススメ野菜はコチラ！



アスパラ+ブロッコリー



アスパラ+スナップエンドウ



アスパラ+かぼちゃ

経営規模・例

アスパラ: 0.4ha  
(ハウス12棟)

その他作物: 2.0ha

年間総労働時間  
5000時間  
(夫婦で)

## リアル数字で見る農業

厚沢部町での新規就農を  
シミュレーション

年間収支 ..... 1270万円

内訳 アスパラ ..... 860万円  
その他作物 ..... 410万円

経費 ..... 770万円

※初期投資(ハウスの設置費)により異なります。

年間の所得 およそ500万円



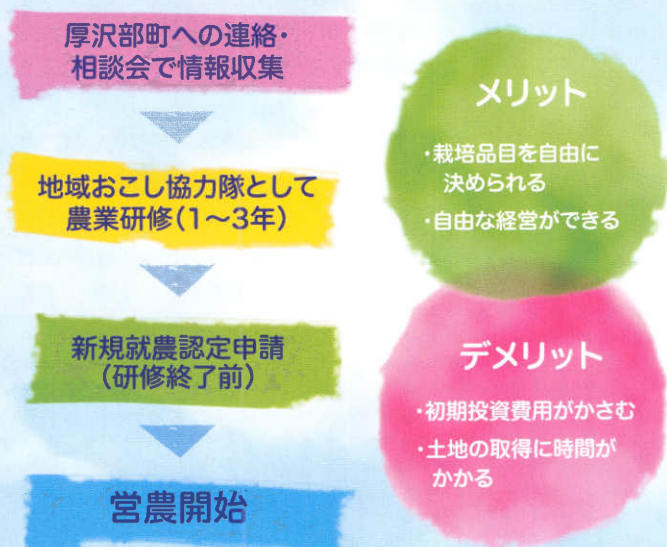




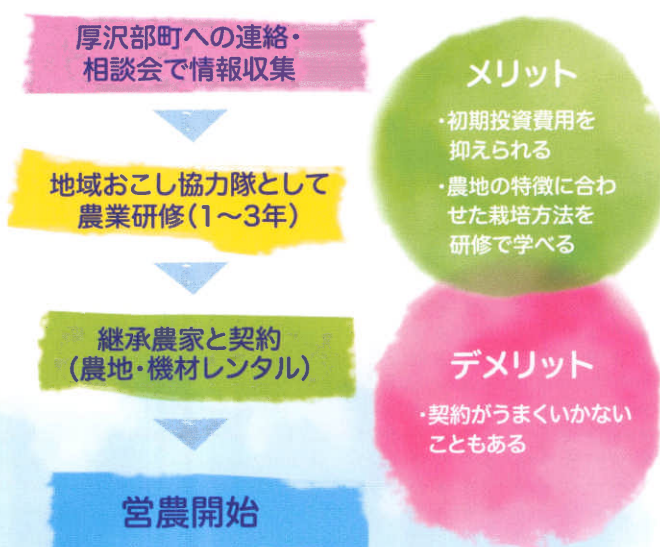
# さあ、農業を はじめよう！

栽培する作物が決まったら営農スタイルを考えましょう。  
方法はいろいろありますが、「担い手育成対策協議会」が  
とことんサポートしますので安心してくださいね。

## 独立就農



## 第三者継承



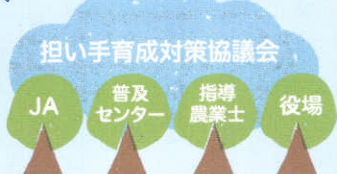
自分好みの農業を実現しやすいのは、やはり独立就農です。厚沢部町では、農業人口の減少に伴い、新規就農者でも農地を取得し独立就農をすることが可能です。地縁のない土地で、農地を探すのは大変だと思われるかもしれませんが、就農地探しは担い手育成対策協議会が徹底的にサポートします。農業人口の高齢化に伴い、離農を考えている農家も多いためぜひ一度相談してみてください。

めぐり合わせの要素も大きくなりますが、新規就農者にとってメリットが大きい第三者継承。厚沢部町では、継承予定の農家さんの元でまずは研修を行い、営農状況を確認して継承の契約を進めています。実際の農地で研修を行ってもらえるほか、ハウスや耕作機械類もレンタルできるなど費用面での負担がグッと軽くなります。

## 町全体でのフォローアップ

### 担い手育成対策協議会

就農に必要なサポートを一本化。各分野の専門職員がサポートします。また、就農者の情報を協議会の中で共有することで、より多角的なアドバイスが可能に。



### レクチャー

苗植えなど大切な作業を行う際には、普及センターや指導農業者が土の状態や、天候をみて最適な方法を伝授。アスパラの場合、同じ株を15年使用するからこそ、こうした現地指導はとても貴重です。

### 助成金

農業の次世代を担ってくれる新規就農者へのサポートは手厚く、町独自のサポートと国の支援制度を活用できます。申請書類がいろいろあって難しいイメージがあるかも知れませんが、役場の職員がイチからサポートしますので安心です。

### 就農・農業支援

(町) ■新規就農奨励金 100万円

(町) ■起業支援補助金 100万円

(国) ■農業次世代人材投資事業費補助金(最大5年)  
毎年225万円 上限(夫婦)

(町) ■新規就農者補助金 年間借地料の半額補助/5年間  
農用地の固定資産税全額補助/5年間





# 子どもは町民みんなの宝モノ



大人になったとき、厚沢部という町をいい思い出として思い出してもらえるように、こども園では楽しい時間を過ごしてほしい。そんな想いで毎日お預かりしています。地元で採れるメークインを使った食育など独自の取り組みも行なっています。



園長 斉藤紋子さん



ミキハウス子育て総研(株)と協力した認定事業で誕生した、認定こども園「はぜる」。地元の木材がふんだんに使われた園内の各教室には“たいこ山”など、町にゆかりのある名前が付けられています。保育園と幼稚園を兼ねており、現在の園児数は約110名。

認定こども園

「はぜる」の意味

「草木の実が熟してはじける」という意味から、子どもたちが元気にはじける姿をイメージして名付けました。

## 食育・心・知・生きる力

町の特性を生かした食育や自発性を養う教育など先進的な保育を取り入れていることが特徴。その例として「しらべ学習」があります。近くの水田で生きるドジョウは、何を食べてどんな環境で生きているのか？園児自身が、飼育に必要な道具や餌を考えて、教室でドジョウの飼育に挑戦！自分で考える力を育てています。



やわらかな陽が注ぐエントランス



お昼寝明けの遊びタイム



みんなの作品が廊下に並びます

## 公営塾



居住地の教育環境が原因で子どもたちの進路を決めたくない、という想いから2018年秋に開設された公営塾では、中学生を対象に合計40名程の生徒が学んでいます。教員免許も持つ東先生は「学校の補助としてサポートできれば」と進路の情報や受験対策のほか、生徒たちの相談役も担っています。



## 現役ママの声

厚沢部町の方はみんな優しく、子供を連れていって声を掛けてくれたりするので地域の方とのコミュニケーションもとりやすいですね。一番上の子は今年から小学生。こども園でお友達になった子たちと離れてしまうことが心配でしたが、入学3ヶ月目でもう新しいお友達ができた様子で安心しました。子供たちには大自然でのびのび遊んでほしいです！

厚沢部町の子育て支援は手厚く、認定こども園「はぜる」は、3歳児以上の保育料が無料。さらに満18歳まで医療費も全額補助。函館市から移住就職をした長谷川さんに子育てについて伺いました。

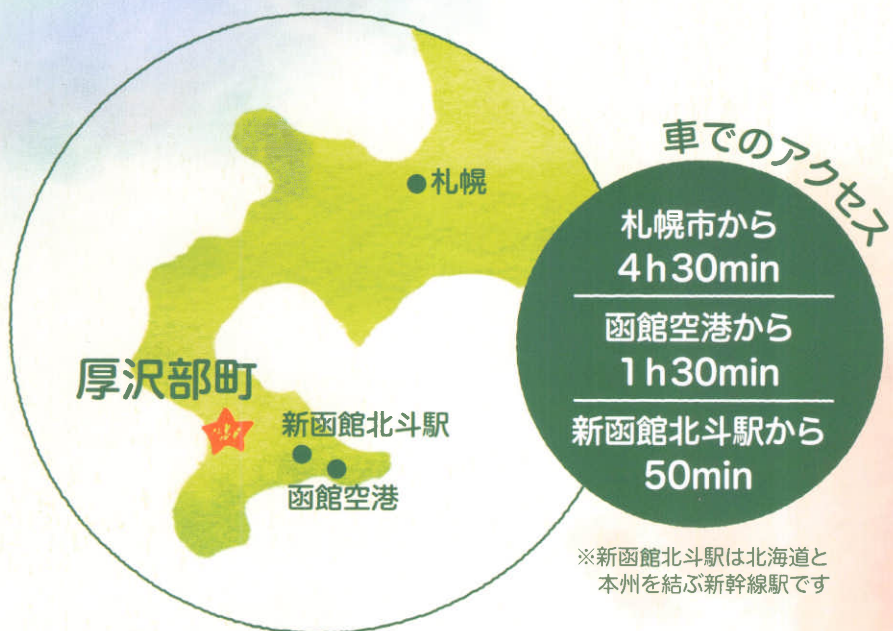


子連れの田舎暮らしを楽しんでいます

中には、札幌や函館の高校を選んで進学する子もいるよ







## おらいも君ファミリー

厚沢部町をPRするために生まれた  
町民支持率100%の公式キャラクター



さつきさん  
料理上手なお母さん



ポテコちゃん  
お母さんのお手伝い大好き



はぜくん  
元気いっぱいのお母さん

農業で自立できる町

## 厚沢部町農業担い手育成対策協議会

厚沢部町役場農林商工課

〒043-1113 北海道檜山郡厚沢部町新町207番地

電話：0139-64-3314 FAX：0139-67-2815

E-mail : nousin@town.assabu.lg.jp